

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和6年第26週の発生動向

□ トピックス

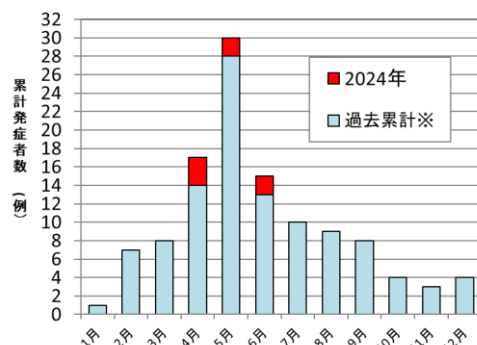
・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）

（全数報告の感染症）の報告が日南保健所管内からあった。患者は80歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。県内での報告は、累計116例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	5	26	44	31	6

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



※2013年3月から2023年まで

□ 全数報告の感染症（26週までに新たに届出のあったもの）

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 4 例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群 1 例。
- 5 類感染症：梅毒 4 例、破傷風 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	男	肺結核	なし
			80歳代	男	肺結核	咳、全身倦怠感
		延岡	80歳代	男	肺結核	痰、軽度の呼吸不全
		日向	60歳代	女	肺結核	なし
4類	重症熱性血小板減少症候群	日南	80歳代	女	—	全身倦怠感、血小板減少、白血球減少、出血傾向、紫斑、消化管出血、ふらつき、意識障害、全身掻痒感
5類	梅毒	宮崎市	40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結
		都城	30歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	梅毒性バラ疹
			40歳代	男	早期顕症梅毒Ⅰ期	丘疹性梅毒疹
		高鍋	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	初期硬結、梅毒性バラ疹
	破傷風	都城	80歳代	女	—	筋肉のこわばり、開口障害、嚥下障害、発語障害、呼吸困難(痙攣性)

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・ 定点医療機関からの報告総数は 1,537 人(定点当たり 36.1)で、前週比 115%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は 683 人(11.8)で、前週比 159%と増加した。日南(23.4)、高鍋(15.5)、都城(13.4)保健所からの報告が多く、年齢群別は 15 歳未満が全体の約 3 割を占めた。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

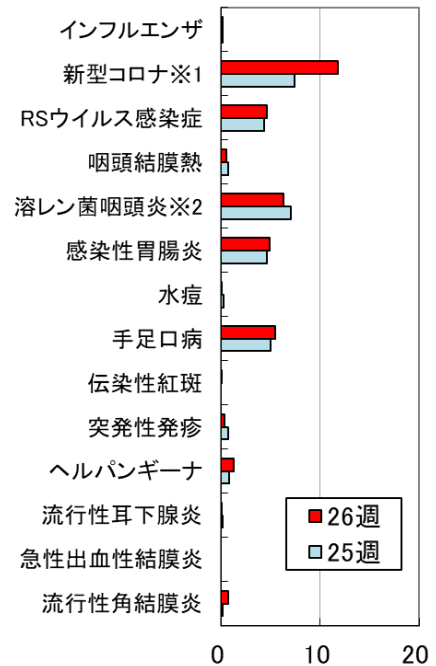
報告数は 227 人(6.3)で、前週比 90%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.4)の約 4.6 倍であった。宮崎市(8.7)、延岡(7.5)、日南(7.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は 4 歳から 7 歳が全体の約 4 割を占めた。

【手足口病】

報告数は 195 人(5.4)で、前週比 108%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.5)の約 3.6 倍であった。高千穂(11.0)、延岡(10.8)、小林(7.7)保健所からの報告が多く、年齢群別は 6 ヶ月から 2 歳が全体の約 8 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均

《前週との比較》

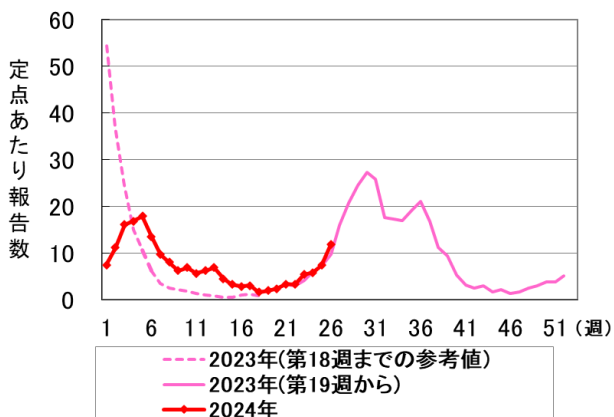


定点あたり報告数

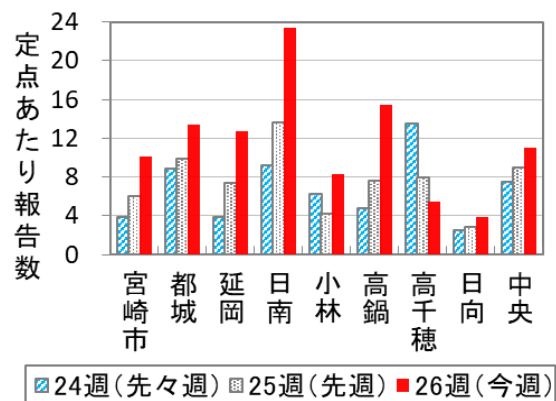
※1 新型コロナウイルス感染症

※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

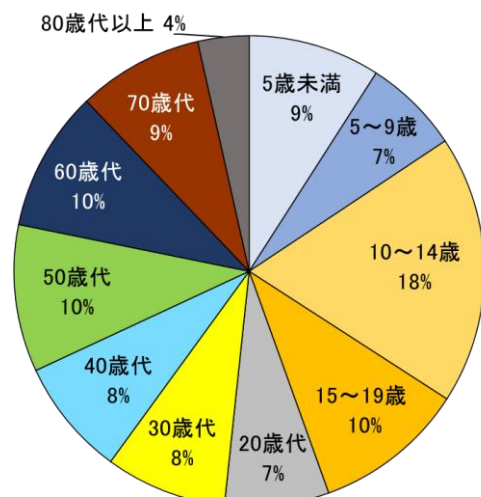
新型コロナウイルス感染症 発生状況



新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)

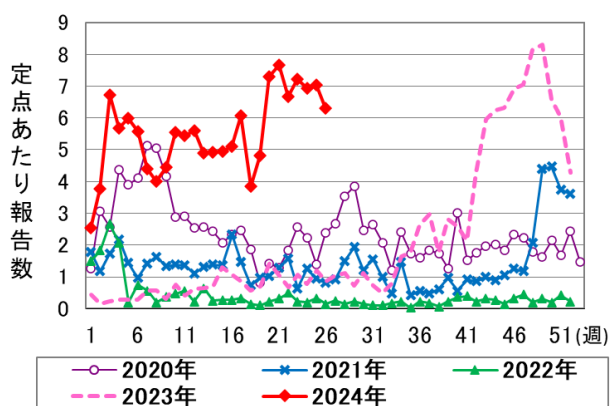


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第 26 週)

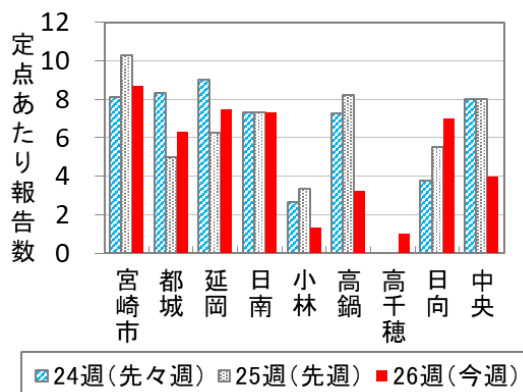


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

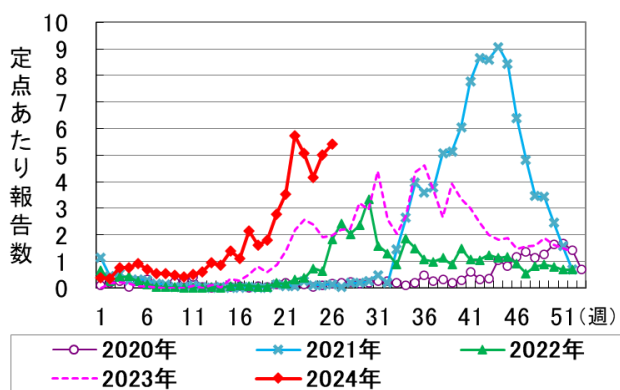
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



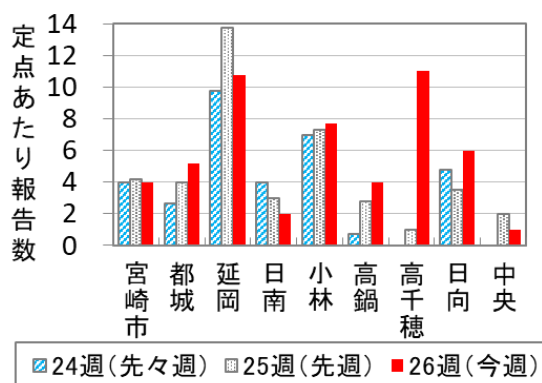
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病
保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：高鍋保健所より1例報告があり、年齢は15～19歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

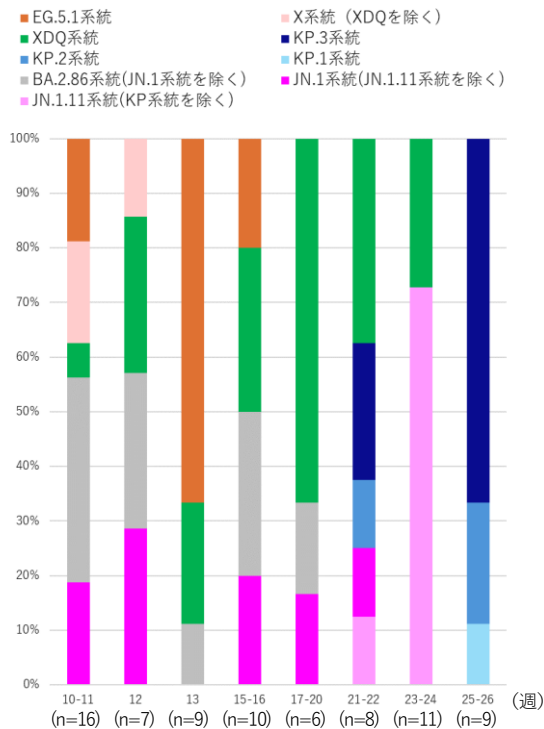
保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.7)
都城	手足口病(5.2)
延岡	手足口病(10.8)
日南	なし
小林	手足口病(7.7)
高鍋	なし
高千穂	手足口病(11.0)
日向	手足口病(6.0)
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・手足口病(5)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統の割合



○第 25-26 週で KP. 3 系統が約 67%、
KP. 2 系統が約 22%を占めている。

※KP 系統は JN. 1. 11. 1 の子孫株で、
現在、日本や欧米で流行している。
ゲノム解析は概ね前週の検体を用
いて実施している。なお、解析検体
数が多い場合は割合の変動が大
きくなる。
衛生環境研究所においては、県内
医療機関の協力のもと、新型コロナ
ウイルスの PCR 陽性となった検体を
毎週収集し、ゲノム解析を実施して
いる。

全国 2024 年第 25 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	271 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	71 例	腸チフス	2 例		
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	デング熱	4 例	日本紅斑熱	7 例	ライム病	3 例
	レジオネラ症	42 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	7 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	26 例
	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	33 例
	後天性免疫不全症候群	16 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	12 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	36 例	水痘(入院例)	11 例	梅毒	165 例
	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例	百日咳	33 例
	風しん	1 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 106%と増加した。なお、前週と比較して増加した主
な疾患は新型コロナウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜
熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎であった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は 22,754 人(4.6)で前週比 111%と増加した。沖縄県(25.7)、鹿
児島県(10.5)、佐賀県(8.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。

手足口病の報告数は 19,797 人(6.3)で前週比 133%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*
(1.4)の約 4.5 倍であった。三重県(16.4)、兵庫県(11.1)、滋賀県(10.4)からの報告が多く、年齢群別
では 1 歳から 3 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

疾病名		第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	7	8			2		2	2		2	
	定点当り	0.12	0.14	0.00	0.00	0.29	0.00	0.50	0.33	0.00	0.33	0.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	429	683	161	134	89	117	33	93	11	23	22
	定点当り	7.40	11.78	10.06	13.40	12.71	23.40	8.25	15.50	5.50	3.83	11.00
RSウイルス感染症	報告数	157	166	78	27	22	14	7	2	1	13	2
	定点当り	4.36	4.61	7.80	4.50	5.50	4.67	2.33	0.50	1.00	3.25	2.00
咽頭結膜熱	報告数	24	17	5	4	1	2			1	4	
	定点当り	0.67	0.47	0.50	0.67	0.25	0.67	0.00	0.00	1.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	253	227	87	38	30	22	4	13	1	28	4
	定点当り	7.03	6.31	8.70	6.33	7.50	7.33	1.33	3.25	1.00	7.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	167	175	58	34	6	29	18	11	3	12	4
	定点当り	4.64	4.86	5.80	5.67	1.50	9.67	6.00	2.75	3.00	3.00	4.00
水痘	報告数	7	1	1								
	定点当り	0.19	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	180	195	40	31	43	6	23	16	11	24	1
	定点当り	5.00	5.42	4.00	5.17	10.75	2.00	7.67	4.00	11.00	6.00	1.00
伝染性紅斑	報告数		1	1								
	定点当り	0.00	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	11	4	3				3		1	
	定点当り	0.69	0.31	0.40	0.50	0.00	0.00	0.00	0.75	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	29	45	4	18	13	2	5	1	1	1	
	定点当り	0.81	1.25	0.40	3.00	3.25	0.67	1.67	0.25	1.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	3	3								
	定点当り	0.11	0.08	0.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	4	4								
	定点当り	0.17	0.67	1.33	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数		1						1			
	定点当り	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2024年 第1週～26週 保健所受理分)

2類感染症	結核	48例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	23例		
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例
	つつが虫病	14例	日本紅斑熱	5例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10例	後天性免疫不全症候群	2例
	侵襲性肺炎球菌感染症	7例	水痘(入院例)	4例
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例(1)
			重症熱性血小板減少症候群	7例(1)
			レジオネラ症	7例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	3例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
			梅毒	83例(4)
			百日咳	37例

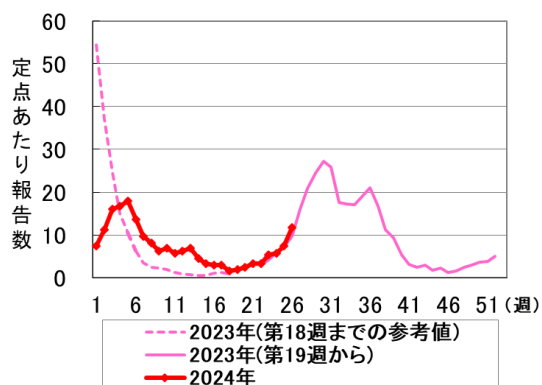
()内は今週届出分、再掲

新型コロナウイルス感染症情報《県内第 26 週、全国第 25 週（再掲）》

□ 県内第 26 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

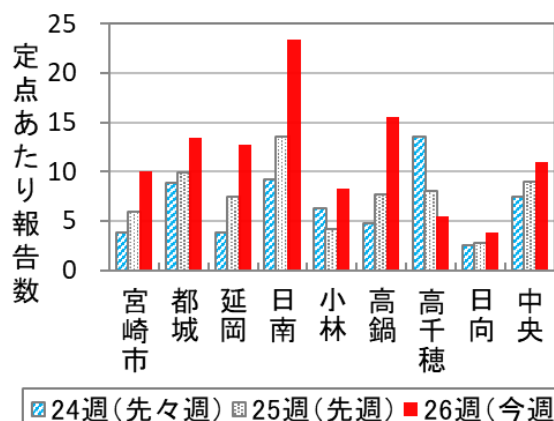
6 月 24 日～6 月 30 日までの 1 週間で 683 人(11.8)の報告があった。前週比 159%と増加し、日南(23.4)、高鍋(15.5)、都城(13.4)保健所管内からの報告が多かった。

新型コロナウイルス感染症 発生状況

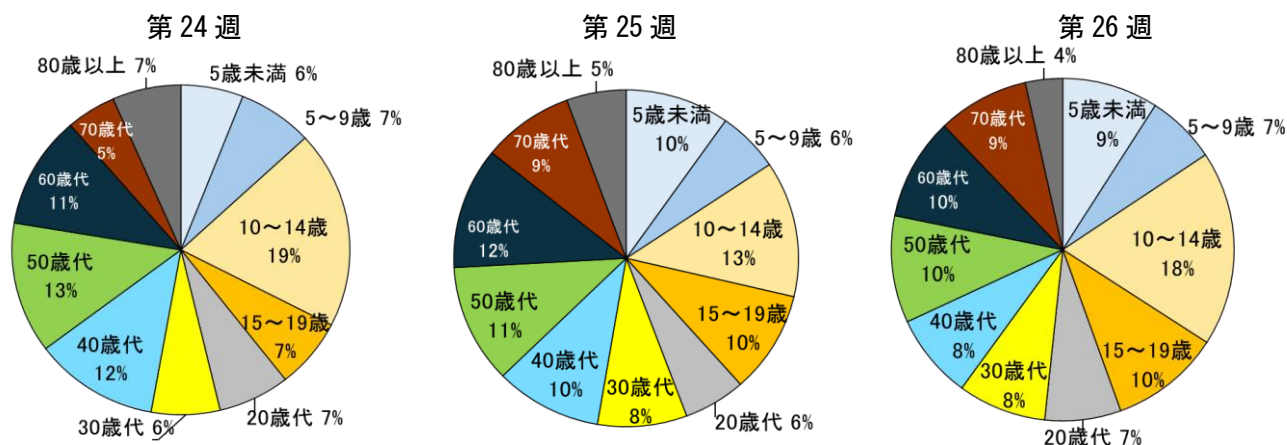


※新型コロナウイルス感染症の 2023 年第 1 週～第 18 週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

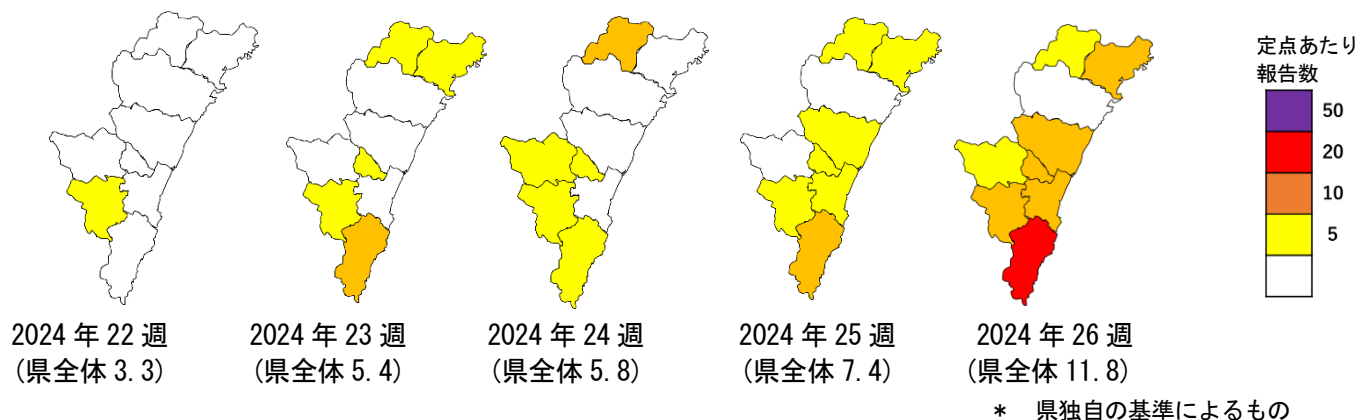
新型コロナウイルス感染症
保健所別推移(3 週分)



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ



保健所別新型コロナウイルス感染症流行マップ 2024 年第 22 週～2024 年第 26 週



□ 全国第 25 週 新型コロナウイルス感染症発生動向

6 月 17 日～6 月 23 日までの 1 週間で 22,754 人(4.6)の報告があった。前週比 111%と増加し、沖縄県(25.7)、鹿児島県(10.5)、佐賀県(8.5)からの報告が多かった。年齢群別では 15 歳未満が全体の約 2 割を占めた。